

平成29年度 教員免許状更新講習

| No. | 講習の期間 | 講習の名称 | 講習の概要 |
|-----|------------|-----------------------------|--|
| 1 | 平成29年8月21日 | 【選択必修】学校カウンセリング | 今こそ誰もがカウンセリング・マインドを備えていることが必須である。生徒の苦しみを聞き生徒の立場になって考え、生徒自身に解決させていく。カウンセリングの基礎を体得しテクニックを習得しながら、生徒の問題解決を援助する方法を探る。カウンセリングは学校教育において重要な役割を果たす時代を迎えている。授業はかつてのような教育的効果をあげることが難しくなっている。学校生活は人間関係に煩雑さを生み、子どもたちの苦悩ははかり知ることができない。これらの問題に何らかの解決への道を示唆することが出来ればと思う。 |
| 2 | 平成29年8月1日 | 【選択】アクティブ・ラーニングを取り入れた英語授業実践 | 学習者を飽きさせることなくモチベーションを高め、教育効果を上げるうえで今や欠くことができないのがアクティブ・ラーニングを取り入れた授業運営方法である。この講習では、学習者参加型の授業実践例を紹介し、高等学校の英語の授業にどのような形で取り入れられるかを体験してもらう。講習は実習形式で行い、英語による授業も含む。 |
| 3 | 平成29年8月10日 | 【選択】障害支援(福祉機器領域)論 | 先天的あるいは後天的に障害をもった場合でもQOL(生活の質)を高めるための支援について学ぶ。特に障害の改善が望めない場合、障害を補う支援が必要になるが、福祉機器による支援もその一つである。ここでは、自助具や福祉用具に関する基本的事項について学び、現場での利用や活用ができることをねらいとする。 |
| 4 | 平成29年8月11日 | 【選択】障害支援(福祉機器領域)論 | 先天的あるいは後天的に障害をもった場合でもQOL(生活の質)を高めるための支援について学ぶ。特に障害の改善が望めない場合、障害を補う支援が必要になるが、福祉機器による支援もその一つである。ここでは、自助具や福祉用具に関する基本的事項について学び、現場での利用や活用ができることをねらいとする。 |
| 5 | 平成29年8月22日 | 【選択】ICTを活用した授業教材の利用法 | 学校教育におけるICT環境の導入・整備が進んでいる中で、授業におけるICT環境での教材活用の考え方・手法について講義演習をおこなう。情報機器やネットワークの整備が進む教育環境で、ICTを活用した授業の事例や演習を通してその有効性や活用方法について考える。黒板とチョークとデジタル化された学習教材の効果的な利用法について具体的な機器操作も含めて実習をおこなう。 |
| 6 | 平成29年8月22日 | 【選択】幼児期にふさわしい生活を送るための指導法 | 「幼児期にふさわしい生活」の展開としての保育・教育につながる実践力や職能の確かめのための学びを目指す。幼稚園における教職課程を基本課題として、幼稚園教育の考え方、知識及び技能の習得を中心に最新の研究成果をふまえて授業を進める。授業は講義を基本とするが演習(対話的な学習過程)を組み込み、日々の実践上の課題にもアプローチできるようにする。 |
| 7 | 平成29年8月23日 | 【選択】暮らしの中の数理分析 | 本講習では、暮らしの中の身近な問題から、それらの奥に潜む数理を抽出・分析し、真に必要な基礎学力とは何かを考える。『暮らしの安全を支えるー暗号理論と「余り」の数学』、『考える力を磨いて、人間力を高める』、『オープンソースソフトウェアの活用』の3つのテーマに取り組み、3つ目のテーマでは、この講習によってオープンソースが学校で有効に活用され、教育現場での仕事の質と効率がより一層向上することを目指す。 |
| 8 | 平成29年8月24日 | 【選択】薬物乱用問題の基礎と対策 | 薬物乱用問題は低年齢化、多様化が進んでおり、教育現場での対策の必要性も高くなってきている。本講習では、薬物乱用に関する基本的な知識の修得をまず行い、続いて児童・生徒にその危険性を認識させ、安全な学校生活を送らせるための方策について、グループディスカッションを行うことで考えていく。 |
| 9 | 平成29年8月25日 | 【選択】プログラミング教育の現状と展望 | 今日、ICTを活用できる能力は、社会生活にとって不可欠なものとなってきている。そのような社会状況の中で、小学校においてプログラミング教育の必修化が検討されている。本講習では、先行的な取り組み等のプログラミング教育のカリキュラム等の紹介と、子ども向けプログラミング言語Scratchによるプログラミング体験実習を行う。講習を通してプログラミング教育の意義や、各教科でどのように活用できるかを考える。 |
| 10 | 平成29年8月30日 | 【選択】法教育を考える | 新学習指導要領の告示や、裁判員制度の導入などに伴い、学校教育における「法教育」の重要性は、今後ますます高まっていくものと考えられる。小・中・高の段階において、どのようにして児童・生徒に「法」について教育していくべきかを、公法(憲法・行政法)、民事法、刑事法に関する具体的なケースを素材としながら、ディスカッションやロールプレイを通して、受講者のみなさんと共に模索してみたい。 |